むらまち通信

第122号

2013年7月16日 発行

「イチゴの苗床整理体験」を実施しました。

○ 実施状況
- 日　　時：平成２５年７月１５日（月）　９：００～
- 実施会場：豊平川ファーム
- 主　　催：八剣山発見隊
- 参 加 者：１７名
- 実施内容：苗床に残ったイチゴ収穫・サクランボ収穫
  苗床の掘りおこし、苗の廃棄作業（男性）
  収穫したイチゴの冷凍作業（女性）

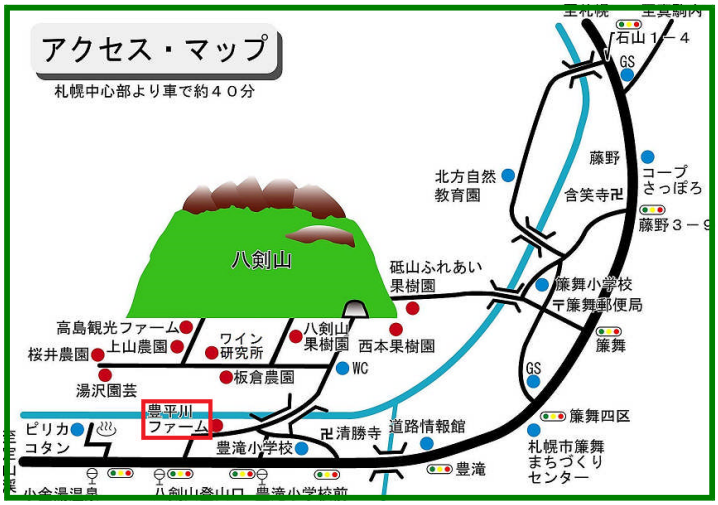
今年も6月下旬からはじまったイチゴ狩りは、休日を中心にたくさんの家族連れが訪れて、真っ赤に熟した甘いイチゴを食べて楽しんだりお土産に買い求めたりしていましたが、7月中旬を迎えイチゴのシーズンも終了し、イチゴ畑には小さい実だけが残るようになってきました。

農家では来年のイチゴ狩り実施に向けて、イチゴ畑の整理を行うこととなりますが、今回は豊平川ファームから作業についての依頼があり、17名が参加して実施しました。

今年は5月の連休過ぎまで寒い日が続き、イチゴのシーズンは例年より遅れてはじまりましたが、期間中は気温が高く、雨が少なかったことから日照り気味で、例年よりもイチゴのシーズンは短かったようで、今回の作業で収穫するイチゴは量が少ないとのことでした。

会場のイチゴ畑

イチゴ苗の生育状況確認



作業をはじめた時は快適な気候でしたが、だんだんと日射しが強くなり、途中で休憩を挟みながら作業を行いました。

イチゴはあまり残っていませんでしたが、味は濃厚で甘く美味しくなっていました。収穫したイチゴ（約２キロ）はすべてジュース用とし、また農園のご厚意によりサクランボの収穫も実施することができました。

収穫後、男性陣はイチゴ苗床の整理作業。苗床から苗を抜いてある程度の量をまとめ、それを一輪車で畑の外に運び出して整理しました。女性陣は椿邸で収穫したイチゴとサクランボをジュースにするための加工作業を実施しました。

苗床の整理作業を終えた男性陣も椿邸に集まり、用意してくれたカレーや持ち寄った漬物などで歓談したところです。

サクランボの収穫

椿邸で庭を眺めて歓談

イチゴの苗床の整理作業

発行：塚本むらまち計画研究室
主宰　塚本　保弘
061-1276
北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10
携帯電話：090-7515-7057
E-mail：thuka@rose.ocn.ne.jp